

#### 4. インターネット公開中の研究資料検索システムに提供中のデータベース

標記のデータベースには以下の12種がある。文献情報を統合したため前年度より件数は減った。

- |             |                    |
|-------------|--------------------|
| 1) 美術関係図書   | 7) 写真原板            |
| 2) 伝統芸能関係図書 | 8) 美術家・美術関係者資料     |
| 3) 保存修復関係図書 | 9) 画廊資料            |
| 4) 売立目録     | 10) 文化財関係文献（統合試行版） |
| 5) 展覧会カタログ  | 11) 近現代美術展覧会開催情報   |
| 6) 和雑誌      | 12) 伝統楽器情報         |

#### 5. 図書受入数

和漢書901件、洋書134件、展覧会図録・報告書等5,475件、雑誌9,306件（受入総数15,816件）

38種の目録所在情報

#### 6. 資料閲覧室の利用状況

公開日総数137日、利用者年間合計977人

#### 研究組織

- 綿田稔、田中淳、山梨絵美子、二神葉子、小林公治、津田徹英、塩谷純、小林達朗、皿井舞、吉田千鶴子、城野誠治、井上さやか、橘川英規、中村明子、福永八朗（以上、企画情報部）、飯島満（無形文化遺産部）\*、佐野千絵（保存修復科学センター）\*

\*企画情報部併任

#### 備考

本事業のうち、セインズベリー日本藝術研究所（イギリス・ノリッジ）での協定書調印式への所長の出席は所長裁量経費「セインズベリー日本藝術研究所との協定書調印式」（所長05）により、書架の増設は所長裁量経費「図書資料整理室の書架増設」（所長12）による。

## 無形文化遺産に関わる音声・画像・映像資料のデジタル化（③無03-12-3/5）

#### 目的

無形文化遺産部では、旧芸能部時代から、文献資料のほかに、音声・画像資料を積極的に収集してきた。これらの記録は極めて貴重であるが、記録メディアの進展に伴って、より好環境のもとに保存してゆく必要がある。このため無形文化遺産部では、画像・音声・映像資料の媒体転換を進めてきたが、将来的には、デジタル化された各種資料の集積によって、デジタル・アーカイブの開設を目指している。

#### 成果

昨年度までに受入れ手続きが完了した資料の内、経年変化に伴う音質劣化が懸念されるオープンテープのデジタル化を昨年度に引き続き実施した。カセットテープに関しても、将来のデジタル化を視野に、収録内容の確認を含めた整理を行った。所蔵SPレコードの内、特殊な再生装置が必要な初期音盤の一部について、内容確認及び媒体変換を行った。

#### 研究組織

- 石崎武志、高桑いづみ、飯島満、久保田裕道、菊池理予、今石みぎわ、橋本かおる、佐野真規（以上、無形文化遺産部）